

1. 建物概要

建物名称	福一産業株式会社ビル	BEE	1.3	BEEランク	B+	★★★
------	------------	-----	-----	--------	----	-----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.4 /5		ふつう 
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8 /5		がんばろう 
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.7 /5		ふつう 
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7 /5		がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4 点以上 	ふつう 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.4
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①外皮性能の温熱環境の向上に配慮した。 ④過剰な設備設置をひかえ、躯体、仕上、配管の更新必要間隔が長い材料を採用した。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤外部仕上等は、周辺の街並みや風景にバランスよく調和させている。 ⑥緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑨LED照明の採用。高効率空調機の導入。	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪衛生機器は節水型を採用している。 ⑫躯体材料以外におけるリサイクル材の採用に配慮している。 ⑬再利用可能なシステム建材を採用している。 ⑬有害物質を含まない材料の使用に努めるなどして環境への悪影響の低減を図っている。	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭省エネルギー対策。 ⑮近くの気象台を用いて風向風速卓越風などの風環境を把握し、計画に配慮した。	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	2.8
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	3.7
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲空間にゆとりを持たせることによって、機能的で使いやすい空間とするとともに将来の変化にも対応できるように配慮している。	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑街並みに配慮し、木材等自然素材を活用した外装とした。 また、一般に開かれたカフェ、展示施設、屋上テラスを併設し、地域への配慮、快適性の向上に努めている。	Q-3 3 3.1	㉑ 地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	2.7
	■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) ㉒外部仕上等は、周辺の街並みや風景にバランスよく調和させている。 ㉓緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。	Q-3 1 2 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善) ㉕近くの気象台を用いて風向風速卓越風などの風環境を把握し、計画に配慮した。	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善

CASBEE静岡 評価結果					■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.0)					
福一漁業株式会社ビル					欄に数値またはコメントを記入					
スコアシート										
配慮項目	重点項目				環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
	G	D	U	N						
Q 建築物の環境品質										3.0
Q1 室内環境							0.40	-	-	3.4
1 音環境							3.0	0.15	-	3.0
1.1 騒音							3.0	0.40	3.0	-
1.2 遮音							3.0	0.40	-	-
1 開口部遮音性能					6+A12+6		3.0	0.60	3.0	-
2 界壁遮音性能					PB12.5+A50+PB12.5		3.0	0.40	3.0	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					—		1.0	-	3.0	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					—		3.0	-	3.0	-
1.3 吸音					事務所用途天井:岩綿吸音板貼り		3.0	0.20	3.0	-
2 温熱環境							3.2	0.35	-	3.2
2.1 室温制御							3.5	0.50	-	-
1 室温					冷房25° 暖房 22°		3.0	0.38	3.0	-
2 外皮性能					省エネルギー計算書による		5.0	0.25	3.0	-
3 ゾーン別制御性					単一ダクト方式		3.0	0.38	-	-
2.2 湿度制御					冷房70% 暖房50%		3.0	0.20	3.0	-
2.3 空調方式					4方向吹出し暖房気流制御、人感センサー		3.0	0.30	3.0	-
3 光・視環境							3.0	0.25	-	3.0
3.1 昼光利用							3.0	0.30	-	-
1 昼光率					昼光率(1階漁撈部事務室)1.68%		3.0	0.60	3.0	-
2 方位別開口					—		-	-	3.0	-
3 昼光利用設備					—		3.0	0.40	3.0	-
3.2 グレア対策							3.0	0.30	-	-
1 昼光制御					ブラインド		3.0	1.00	3.0	-
3.3 照度					全般照明 平均照度672.18～676.01lx		3.0	0.15	3.0	-
3.4 照明制御					—		3.0	0.25	3.0	-
4 空気質環境							4.4	0.25	-	4.4
4.1 発生源対策							5.0	0.50	-	-
1 化学汚染物質					仕上及び仕上に用いる接着剤等は全てF☆☆☆☆とする		5.0	1.00	3.0	-
4.2 換気							4.3	0.30	-	-
1 換気量					熱交換式換気含む設計換気量は必要換気量の10.54倍		5.0	0.33	3.0	-
2 自然換気性能					開口率 1/13.2(7.57%)		5.0	0.33	3.0	-
3 取り入れ外気への配慮					—		3.0	0.33	3.0	-
4.3 運用管理							3.0	0.20	-	-
1 CO ₂ の監視					—		3.0	0.50	-	-
2 喫煙の制御					2階に喫煙BOXを設置		3.0	0.50	-	-
Q2 サービス性能							-	0.30	-	3.3
1 機能性							3.6	0.40	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ							3.0	0.40	-	-
1 広さ・収納性					1人当たりの執務スペース17.36㎡		5.0	0.33	3.0	-
2 高度情報通信設備対応					OAフロア 24.503VA/㎡		1.0	0.33	3.0	-
3 バリアフリー計画					—		3.0	0.33	-	-
1.2 心理性・快適性							4.0	0.30	-	-
1 広さ感・景観					天井高さ2.7m		4.0	0.33	3.0	-
2 リフレッシュスペース					19.94% コーヒーステーション、サービスコーナー		5.0	0.33	-	-
3 内装計画					—		3.0	0.33	3.0	-
1.3 維持管理							4.0	0.30	-	-
1 維持管理に配慮した設計					—		4.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保					特定建築物以外		4.0	0.50	-	-
2 耐用性・信頼性							3.1	0.30	-	3.1
2.1 耐震・免震							3.0	0.50	-	-
1 耐震性					Z=1.2 I=1.0		3.0	0.80	-	-
2 免震・制振性能					—		3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数							3.6	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数					等級1:防錆塗装(K5674 塗)		3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					押出成形セメント板		5.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					床:タイルカーペット、ビニル床シート 壁:ビニルクロス 天井:ビニルクロス		5.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					—		3.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					給水VD、DB.B、排水VP:B、冷媒管Cu:C		4.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔					空調設備15年 電気温水器10年		2.0	0.20	-	-
2.4 信頼性							2.6	0.20	-	-
1 空調・換気設備					—		3.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備					節水トイレ		2.0	0.20	-	-
3 電気設備					非常用発電機は2階に設置		3.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法					—		3.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備					サーバ等機器は2階に設置		2.0	0.20	-	-

3/4

CASBEE静岡の重点項目の得点計算表

“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)					
	得点	3.4	スコア		重み
【1】エネルギー対策					
LR1 エネルギー	1.1	=	3.4	×	0.33
【2】資源・マテリアル対策	1.2	=	3.5	×	0.33
【3】敷地外環境対策	1.1	=	3.3	×	0.34
【2】資源・マテリアル対策	合計=	3.5			
LR2/1.1.1 節水	2.0	=	4.0	×	0.50
LR2/2.5 持続可能な森林から産出された木材	1.5	=	3.0	×	0.50
【3】敷地外環境対策	合計=	3.3			
LR3/1. 地球温暖化への配慮	1.8	=	3.6	×	0.50
LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	1.5	=	3.0	×	0.50
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)					
【1】サービス性能対策	得点	2.8	スコア		重み
Q2/2.1 耐震・免震	1.5	=	3.0	×	0.50
Q2/2.4 信頼性	1.3	=	2.6	×	0.50
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)					
【1】サービス性能対策	得点	3.7	スコア		重み
1.7	=	3.4	×	0.50	
【2】室外環境(敷地内)対策					
Q3/3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	=	4.0	×	0.50
【1】サービス性能対策	合計=	3.4			
Q2/1.1.3 バリアフリー計画	1.5	=	3.0	×	0.50
Q2/3.1 空間のゆとり	1.9	=	3.8	×	0.50
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)					
【1】室外環境(敷地内)対策	得点	2.7	スコア		重み
0.7	=	2.0	×	0.33	
【2】資源・マテリアル対策					
LR2/2.5 持続可能な森林から産出された木材	1.0	=	3.0	×	0.33
【3】敷地外環境対策					
LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	1.0	=	3.0	×	0.34
【1】室外環境(敷地内)対策	合計=	2.0			
Q3/1. 生物環境の保全と創出	0.3	=	1.0	×	0.33
Q3/2. まちなみ景観への配慮	0.7	=	2.0	×	0.33
Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上	1.0	=	3.0	×	0.34